

J S Q C 規格の開発・制定に関する提案書

規格の名称	小集団改善活動の指針
規格の種類	○ 1. 規格 (JSQC-Std) 2. テクニカルレポート (JSQC-TR)
規格の適用範囲	総合的品質管理 (TQM) の一貫として、組織において行うことが推奨される小集団改善活動の推進の方法
規格の利用者	TQMを実践する組織、および小集団改善活動を実践する組織
制定のねらい	<p>TQMの主要な活動要素のうち、方針管理については、「JIS Q 9023: 2003 品質マネジメントシステムのパフォーマンス改善—方針の策定、展開及び運営管理の指針」が制定されている。また、日常管理については、「JSQC-Std 32-001: 2013 日常管理の指針」が制定されている。</p> <p>これらの活動で明らかになった課題・問題の解決の手順・手法については「JIS Q 9024: 2003品質マネジメントシステムのパフォーマンス改善—継続的改善の手順及び技法の指針」が制定されているものの、その実践の場となる小集団改善活動 (QCサークル活動、部門ごとのプロジェクトチーム活動、部門横断チーム活動など) の推進方法については、その重要性にもかかわらず、広く活用できる規格がISOやJISとして制定されていない。このために、「小集団改善活動」とは何か、どう進めるのがよいかについては、組織ごと、研究者ごとに見解が異なっており、様々な混乱を生じる一つの原因となっている。また、この混乱が、小集団改善活動を推進する上での大きな障害となっている。</p> <p>本規格は、小集団改善活動に関わる重要な概念および推進方法に関して、学会として統一的な見解を示し、TQMのさらなる普及・発展のための基盤を提供することを目的とする。</p>
制定によって期待される効果	<p>(1) 小集団改善活動に関する概念および推進方法がわかりやすいものとなり、TQMの普及が容易になる。</p> <p>(2) 従来小集団改善活動があまり実践されてこなかった分野 (設計、営業、サービス、管理間接など) へ普及する上で必要となる新たな方法論の研究・議論を行うための基盤を構築できる。</p>
制定によって影響を受けると思われる組織・人	<p>(1) TQMを実践している組織</p> <p>(2) QCサークルなどを推進・実践している組織</p> <p>(3) ISO 9000シリーズの制定、それを用いた認証制度を運用・活用している組織</p>
制定までのおおよそのスケジュール	<p>(1) 2014年3月末 作業原案の完成</p> <p>(2) 2014年4月～2014年6月 審議委員会による審議とパブリックコメントの募集</p> <p>(3) 2014年9月 規格の発行</p>
原案作成に当たって参考となる資料	<p>(1) 日本品質管理学会・小集団改善活動研究会編 (2009) : 「開発・営業・スタッフの小集団プロセス改善活動」、日科技連出版社</p> <p>(2) QCサークル本部編 (1997) : 「QCサークル活動運営の基本」、日本科学技術連盟</p>
提案委員会・研究会・部会名	日本品質管理学会 標準委員会 (小集団改善活動の指針原案作成WGを設ける)